

インフラマネジメント基盤検討事業の進捗状況について

技術企画課

1 要旨

道路や河川などの公共土木施設に関するあらゆる情報を一元化・オープンデータ化し、各種データの融合や市町・民間企業等との連携を可能とするシステム基盤である「インフラマネジメント基盤」の構築等について、幅広く意見を募集する。

2 意見募集の概要

基盤構築やデータ利活用などに対する意見を広く募集し、現在進めている仕様等の詳細検討の参考とする。

(1) 募集期間: 令和2年11月19日(木)～令和3年1月15日(金)

(2) 募集する意見: ①基盤構築に対する意見

②データ利活用に対する意見

③その他自由意見

(3) 周知先: 県政記者クラブ, 業界紙(建設系・IT系), 学術機関 など

(4) 意見の提出方法: 県ホームページの回答フォームから入力・送信

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/95/dobox.html>

QRコード



3 意見の反映について

頂いた意見を参考にしながら、基盤に実装する機能やシステム性能などの検討を進めていく。また、令和2年度末を目途にとりまとめを行う「広島デジフラ構想」の具体的な取組検討にも活用していく。

【参考】仕様等詳細検討業務の概要

業務名: 広島県インフラマネジメント基盤検討事業に係る仕様等の詳細検討業務

業務内容: システム機能要件やシステム構成など、基盤調達に必要な詳細な仕様等を確定し、調達仕様書を作成する。

履行期間: 令和2年10月13日(火)～令和3年3月22日(月)

受注者: EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

4 今後の予定

令和2年度中に基盤の調達仕様書を作成し、令和4年の運用開始を目指して令和3年度に基盤を調達する予定。

項目	令和2年度			令和3年度
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
基本事項の整理	業務終了(9月14日)▽			
システム基盤の検討		▽契約締結(10月13日)		
システム基盤の調達				

今後の
予定

令和4年からの稼働と、その後の拡大を目指す

令和2年11月時点では、令和4年からの稼働を目指して準備を進めています。
まずは県が保有するデータのオープン化を実現することを第一目標とし、民間企業等とも議論しながら、データや機能を拡大していくことを想定しています。



※令和2年度におけるスケジュール案であり、今後変更の可能性があります。

意見の提出先

広島県ホームページの回答フォームから
入力・送信してください。
(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/95/dobox.html>)



意見募集に関するお問い合わせ先

広島県土木建築局 技術企画課 企画調査グループ
〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52
TEL : 082-513-3859 (直通)
E-mail : dogikikaku@pref.hiroshima.lg.jp

インフラマネジメント基盤の構築プロジェクト “Hiroshima Constructive DoboX Project”

*Constructive…建設的な, 前向きな, 積極的な, 発展的な

D o b o X

土木 × DX = ドボックス

「広島デジフラ構想」(デジタル技術やデータを活用したインフラマネジメント)の実現に向けて、広島県が動き出します。
より良い成果を得るために、みなさんの意見を広く募集します。

まあ、参加してみんさいや。

たちまち無料じゃけえ。

ディーエックス
**広島県DX推進
コミュニティ
参加受付中!**

まずは
DX推進コミュニティの
ホームページを
チェック願います!



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-dx-community/>

<DX推進コミュニティの概要>

- (1) 目的
県内の企業・事業者、教育機関、行政等が、切磋琢磨したり、協調・協働しながら、デジタル技術やデータを有効活用して、将来の広島県を創っていくための実践を促します。
- (2) 活動指針
メンバーのDX推進の熟度に応じた活動を行うこととし、まずはDXに対する理解・実践意識の醸成を図る活動から始め、メンバーのニーズを踏まえながら、順次活動を拡大していきます。
- (3) 主な活動内容

DXに対する理解・実践意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域企業・事業者等を対象としたDXの基礎を学ぶ勉強会の実施 ● 地域企業・事業者等を対象としたDXの先進事例を研究するワークショップの実施 ● 経営者、専門家など100人に、それぞれが考える未来像をインタビューして共有
地域の共通課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材の確保・育成・活用に関する調査研究等 ● データ活用に関するセミナー、調査研究等

広島県DX推進コミュニティに関するお問い合わせ先

広島県総務局 デジタルトランスフォーメーション推進チーム
E-mail : soudx@pref.hiroshima.lg.jp TEL : 082-513-2471 (直通)



課題

変化に対応する工夫, チャレンジ, 取組

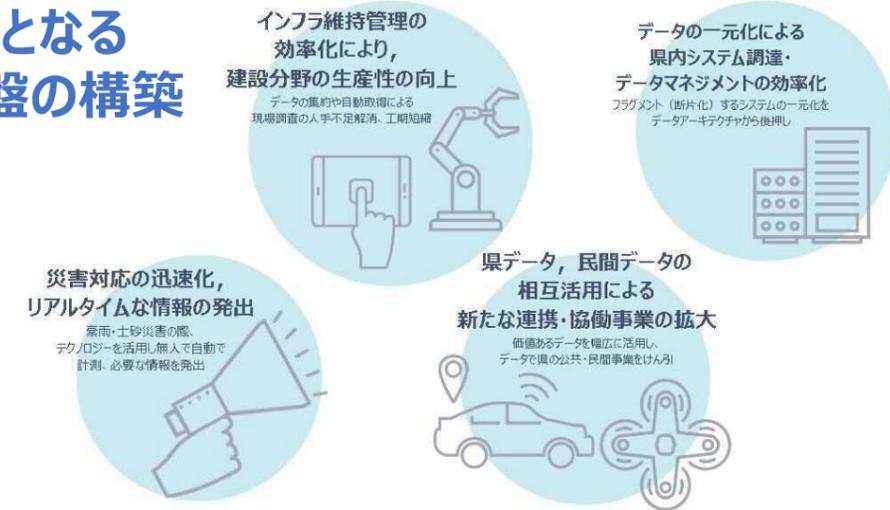
近年, 集中豪雨などによる甚大な被害の発生, 既存インフラの老朽化の進展など, インフラを取り巻く状況は様々変化しています。さらに, 人口減少・少子高齢化によって技術者の担い手不足などが深刻化しており, 安心・安全なインフラを整備・維持管理するためには, 様々な工夫が必要となっています。



取組案

データの利活用が可能となるインフラマネジメント基盤の構築

建設分野においては, データやドローンなどのデバイスの活用を通し, 「デジタルトランスフォーメーション (DX)」によって作業の効率化や取組の高度化を進める動きが活発化しています。広島県では, 「インフラマネジメント基盤 (呼称: DoboX)」を構築し, 県や民間企業等が保有しているデータの利活用を推進することでDXを実践し, 様々な課題の解決に取り組みます。



目指す方向

新たなイノベーションがどんどん生まれる!

インフラマネジメント基盤を活用した取組の将来像として, 6つの目指す姿を描いています。この目指す姿を実現するためには, 行政の発想に留まらない様々なアイデアを取り込みながら, 新たなイノベーションを起こしていく必要があります。インフラマネジメント基盤の構築にあたっては, セキュリティの確保を大前提に, アジャイル・オープン・UI/UX・民間コラボレーションを基本理念に掲げ, 変化に柔軟に対応できる基盤とすることを考えています。

※ UI/UX…ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの略システムのデザインやユーザー体験のこと

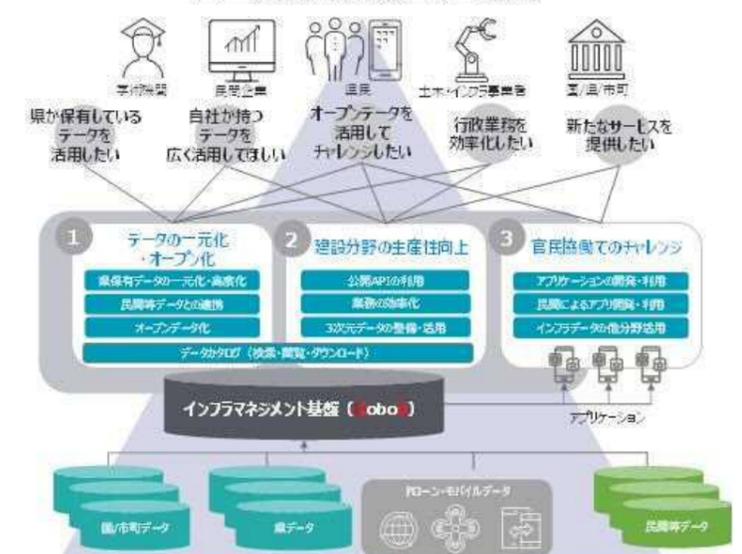
目指す姿

- 1 県が保有しているデータを県民と広く活用する
- 2 局内のシステムの課単位での分散・分断, コストや時間の非効率に終止符を打つ
- 3 社会資本整備のあらゆる段階において, デジタル化の恩恵を最大限に発揮する
- 4 人手不足が著しい建設分野の生産性を上げる
- 5 官だけでなく, 民とコラボレーションを行い, 英知やマンパワーを共有して成果を出す
- 6 土木建築の公共事業だけでなく, データでビジネスを創造・後押しする

基盤構築における基本理念



基盤を活用した取組の全体像



あなたの意見をお聞かせください!

民間事業者, 学術機関, 県民の皆様などに活用されるシステムとするため, 基盤構築やデータ利活用などに関するご意見を幅広く募集します。お寄せいただいたご意見は, 基盤仕様の検討や今後の取組の参考とさせていただきます。

①- 1 募集する意見



①- 2 募集する意見の例

- 基盤構築に関する意見
- 機能, ●●データがほしい
 - 機能を提供したい, 一緒に作りたい
 - セキュリティは●●を採用してほしい
- データ利活用に関する意見
- に活用したいので, ●●の機能やデータがほしい
 - データ形式は●●にしてほしい
 - 活用するためにはこんな仕組みを整えてほしい
- その他, 自由意見
- デジタル技術を活用してこんな取組をしてほしい
 - インフラデータを使ってこんなことができないか検討してほしい
 - 災害のときには●●の情報がほしい

② 募集期間

令和3年 1月15日 (金曜日) 17時00分まで

③ 意見の提出方法

広島県ホームページの回答フォームから入力・送信してください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/95/dobox.html>)

QRコードからも県ホームページにアクセスできます!

